

## 基本的な考え方

当社はすべてのステークホルダーとWin-Winの関係を構築するというCSR経営方針を実践しており、2020年のあるべき姿「N-Vision2020」の実現にむけ、社会的課題に対応した7+1のCSR活動ポイントに取り組んでいます。活動ごとに目標をたて、KPIを設定し、その達成度を検証することによりCSRマネジメントに取り組んでいます。

### 活動の振り返り

2016年度のCSR活動の振り返りを行いました。見えてきた課題に対し対策を講じ、PDCAサイクルを展開することで2017年度の活動を推進していきます。

### 2016年度の振り返り

7+1のCSR活動ポイント 2020年のあるべき姿	活動の振り返り	見えてきた主な課題	自己評価
<b>I 建設・顧客</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 最高水準の施工・サービス品質の追求</li> <li>▶ すべてのお客様の最上満足度の実現</li> </ul>	国交省直轄土木工事の工事成績評定点が平均80点以上、建築工事のお客様アンケートA評価の割合が80%以上と高評価であった。	高評価の要因を分析し、全国展開することで施工力の維持・向上が必要である。	◎
<b>II 安全・健康</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 労働災害ゼロの実現</li> <li>▶ 長時間労働の解消と快適職場の実現</li> </ul>	休業4日以上災害発生が2015年度に比較し、9件減少するなど安全成績が高評価であった。 長時間労働問題の解決のために残業時間計画表の運用実施および現場モニタリングを実施した。	不安全設備や不安全行動に起因する災害に対する取組みが必要である。 長時間労働を削減するという意識改善が必要である。	◎
<b>III 雇用・人権</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 持続性確保にむけた人的資源への積極投資</li> <li>▶ 人財の定着にむけた社員満足度の向上</li> </ul>	『人的資源への積極投資』の指標の一つである資格取得が目標達成されなかった。 『社員満足度向上』を把握するため、従業員満足度調査を実施した。	資格取得に対する個人の意識付けが不十分であり、意識改革が必要である。	○
<b>IV ガバナンス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 説明責任に対応したコーポレートガバナンスの確立</li> <li>▶ 業務と組織の見える化による信頼確保</li> <li>▶ コンプライアンスの徹底</li> <li>▶ 徹底したリスク管理による事業の持続性と信頼確保</li> </ul>	反社会的勢力との一切の関係遮断のため、スクリーニングによる反社チェックを徹底した。 ハラスメント防止のため効果的で実践的な研修を実施した。	日頃よりアンテナを高くし、さらなる警戒が必要である。 支社社員・派遣社員を含めた全社員のコンプライアンス意識の高揚をはかる必要がある。	○
<b>V 環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 環境経営先進企業にむけた取組み</li> <li>▶ 環境コンプライアンス維持基盤の確立と永続的な継承</li> <li>▶ 環境ソリューション事業の積極展開</li> </ul>	LED仮設照明の推進やBDF導入促進などによるCO <sub>2</sub> 削減策を実施した。 西松分別ルールに基づく3R活動(混廃、廃プラ、ガラ陶の最小化)を各現場にて実施した。	分別ルールにおいて標準レベルを下回るケースがあるため、全社的な取組みが必要である。	◎
<b>VI 地域・社会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 企業市民としての積極的社会参加</li> <li>▶ 事業スキルを活かした貢献</li> </ul>	各支社において、事業継続計画が整備された。 首都圏直下型地震あるいは南海トラフ地震を想定したBCP訓練を実施した。	初動時の訓練だけでは不十分である。 被災後を想定した本部の行動訓練が必要である。	△
<b>VII 産業・サプライチェーン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適正なCSRサプライチェーンの構築</li> </ul>	年間受発注計画の実施と早期受注によりNネット会員への発注率が目標達成した。	Nネットとの連携強化に対する理解度が十分に浸透していない。	◎
<b>コミュニケーション</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ CSR活動の積極的発展</li> <li>▶ CSR活動の適切性確保</li> </ul>	2回目のCSR表彰を実施し、ポイント制による選考方法により7件の活動が表彰された。	表彰を通してCSR活動に関する知識・認識を高めるしくみができていない。	○

2017年度の活動についての詳細はホームページをご覧ください。 <https://www.nishimatsu.co.jp/csr/>